

令和５年度　新水道ビジョンの施策内容の進捗管理表

施策方針	施策内容		令和５年度中の実施目標	３か年	担当	令和５年度実施した内容	令和６年度以降計画
安全	直結給水方式の推進 ・直結給水方式の推進（対応可能な範囲が対象）	PR等により導入の推進を図る。	直結直圧給水方式と直結増圧給水方式を採用していることをHPでPRする。（HPを更新する。）	-	給水	給水相談時にてPRした。	直結直圧給水方式と直結増圧給水方式を採用していることをHPでPRする。（HPを更新する。）
	受水槽管理者への指導 ・小規模受水槽の管理者への指導	管理基準に基づく指導を行い、合わせて直圧給水への切り替えを促す。	市報へ掲載する。	-	給水	ホームページにてPRした。	市報へ掲載する。
	安定した水源の確保 ・知多浄水場～上野浄水場連絡管の早期完成の要望	事業の動向を注視しながら早期実現を愛知県企業庁に要望する。	令和５年度完工予定。【要望済】	-	料金	愛知県に確認した進捗は次のとおり。「上野知多連絡線は全長13.1kmのうち、6.9kmが完了しています。残り6.2 kmについては、令和12年度（2030年度）の完了に向けて着実に進めてまいります。」	－
	安定した水源の確保 ・木曽川水系連絡導水路（徳山導水路）の早期実現の要望	事業の動向を注視しながら早期実現を愛知県企業庁に要望する。	事業の進捗状況を確認する。	-	料金	愛知県に確認した進捗は次のとおり。「現在、木曽川水系連絡導水路事業は、国による検証作業中です。検証が終了するまでは、現在実施中の環境調査が継続されることとなります。」	－
	感染症の予防と対策 ・行動計画に基づいた適切な業務継続及び水道水の安全性の周知	行動計画に基づいた適切な業務の継続及び水道水の安全性の周知を図る。	行動計画を実施する。	-	料金	行動計画を適切に実施した結果、業務に支障は生じなかった。	行動計画を実施する。
	水源域の保全 ・水源の涵養機能の保全を目的とした作業の実施	水源の涵養機能の保全を目的とした作業の参加に努める。	南部ブロック協議会主催の保全活動に参加する。	-	料金	南北協議会合同水源地交流視察会に参加し、保全作業を実施した。	南部ブロック協議会主催の保全活動に参加する。
強靱	配水池の耐震化 ・新たな地震動による各配水池の耐震性の照査 対象施設：深谷配水池（RC造×1池）、北部配水池（PC造×2池）	新たな地震動による耐震性を照査する。	該当なし。	-	工務	該当なし。	令和７年度実施予定。
	基幹管路の耐震化 ・基幹管路の耐震化	耐震性の高い管渠への布設替え工事を計画に実施する。	令和５年度予定箇所の工事を実施する。	○	工務	大規模地震等の被災時に、被害を最小限に留め、長期の給水制限を避けることができるよう、計画どおり基幹管路の耐震化を実施した。 今後も継続して耐震化を図るとともに、早期整備に努めていく。	継続して耐震化を実施する。
	重要な給水施設への管路の耐震化 ・避難所など重要な給水施設への管路の耐震化	耐震性の高い管渠への布設替え工事を計画に実施する。	令和５年度予定箇所の工事を実施する。	○	工務	大規模地震等の被災時に、避難所などの重要な給水施設へ早期給水開始ができるよう、計画どおり耐震性の低い管路の耐震化を実施した。	事業完了。
	被災時配水ルート of 早期確保 ・非常時操作バルブマップの作成及び操作訓練の実施	重要な給水施設への配水ルートを確認するためのバルブマップを作製し、非常時の対応強化を図る。	定期的に自主防災訓練等を実施し、災害時の対応力強化を図る。	-	工務	上水道課自主防災訓練を年２回実施し、給水車による給水活動や基幹管路の水量確保のためのバルブ操作確認訓練を実施した。	定期的に自主防災訓練等を実施し、災害時の対応力強化を図る。
	災害時の対応訓練 ・応援給水訓練の実施	応急給水訓練を継続的に実施する。	定期的に自主防災訓練等を実施し、災害時の対応力強化を図る。 南部ブロック合同訓練等へ参加し、広域連携の強化を図る。	-	給水	南部ブロック合同訓練に参加し、関連団体と連携した応急給水訓練を行った。また、区主催の訓練等に参加し、給水タンクや応急給水栓による応急給水訓練を行った。	定期的に自主防災訓練等を実施し、災害時の対応力強化を図る。 南部ブロック合同訓練等へ参加し、広域連携の強化を図る。
	災害時の対応訓練 ・応急給水マニュアルの作成	応急給水マニュアルを作成する。応援体制を構築する。	手順マニュアルを基に、訓練により手順を確認する。	-	給水	訓練を基に、手順マニュアルの見直しを図った。	手順マニュアルを基に、訓練により手順を確認する。
	緊急連絡管の運用訓練の充実 ・緊急連絡管運用訓練の継続実施	愛知県企業庁や関連市町と合同で運用訓練を実施する。	南部ブロック合同訓練等へ参加し、広域連携の強化を図る。緊急連絡管の操作方法を習得する。	-	工務	南部ブロック合同訓練に参加し、関連団体との連携した応急給水訓練等を実施することにより、職員の災害に対する対応力の強化を図った。	継続して合同訓練に参加する。
持続	資産の適切な管理の推進 ・水道施設の維持管理計画の策定と実施	水道施設の維持管理計画を策定し、適切な維持管理を実施する。	保守点検作業報告書をもとに修繕計画を作成し、予算化を行う。	-	工務	概ね計画どおり適切な維持管理を行った。また、配水場等の定期点検を実施するなかで、修繕が必要な箇所については次年度の予算化を行った。	継続して適正な維持管理工事を実施する。
	資産の適切な管理の推進 ・水道施設台帳の整備	水道施設台帳の整備を行う。	水道施設台帳の有効性のある活用方法を検討する。	-	給水 工務	管路台帳は、システムの更新に合わせ仕様の見直しを行い、業務の効率化等を図った。 施設台帳は、データの活用方法について業者への聞き取りを行い、情報を収集した。	継続して効果的な方法を検証する。

令和５年度 新水道ビジョンの施策内容の進捗管理表

施策方針	施策内容		令和５年度中の実施目標	３か年	担当	令和５年度実施した内容	令和６年度以降計画
持続	水道施設の計画的な改築・更新 ・計画的な水道施設の改築、更新の実施 対象施設：管路、配水池、増圧ポンプ場	水道施設の改築・更新工事を計画的に実施する。	令和５年度予定箇所の工事を実施する。施設整備計画に基づき、３か年計画および予算化計上を行う。必要に応じ計画の見直しを行う。	○	工務	予定していた北部配水場の計装盤等の施設改良工事については、県広域調整池からの直結配水を検討する必要性が生じたため見送った。必要な施設改良工事等については、３か年計画および予算化を行った。	水道施設の改築・更新工事を計画的に実施する。
	有収率の向上 ・計画的な漏水調査の実施	漏水調査を計画的に実施する。	漏水調査の計画を見直し、漏水調査を実施する。	-	給水	職員にて漏水調査を行った。	漏水調査の計画を見直し、漏水調査を実施する。
	有収率の向上 ・計画的な老朽管の更新、改築	老朽管の改築・更新工事を計画的に実施する。	令和５年度予定箇所の工事を実施する。施設整備計画に基づき、３か年計画および予算化計上を行う。全体計画の詳細な検討を進める。	○	工務	法定耐用年数を経過した老朽管については、計画どおり更新・再構築を実施した。	継続して老朽化対策を実施する。
	増圧配水区域の縮小 ・増圧配水区域の縮小検討	施設の更新時期に合わせて増圧配水区域の縮小を検討する。	県広域調整池を活用した直結配水を検討する。	○	工務	県広域調整池を活用した直結配水の実施可否を検討するため、令和６年度に業務委託費の予算化を行った。また、必要な工事費を３か年計画へ計上した。	愛知県企業庁等と継続して協議を進める。
	民間活力の活用 ・民間活力の活用事例の収集と分析	民間活力の活用について、事例を収集するなど、採用可能な手法を検討する。	関連企業への聞き取りや先進事例を研究しながら資料を収集する。	-	料金	先進市（中津川市、下呂市）への視察や関連企業への聞き取りを行い、情報を収集した。また、業務効率化基礎調査を実施し、水道事業の抱える課題等を整理するとともに、今後の民間活力の活用について検討した。	次回(令和９年度～)の包括委託に向けて、民間活力を活用する業務を具体的に選定する。
	民間活力の活用 ・管路更新事業のPPP/PFI手法の導入検討	民間活力の活用について、事例を収集するなど、採用可能な手法を検討する。	関連企業への聞き取りや先進事例を研究しながら資料を収集する。	-	料金		
	民間活力の活用 ・事業運用方式の検討	民間活力の活用について、事例を収集するなど、採用可能な手法を検討する。	関連企業への聞き取りや先進事例を研究しながら資料を収集する。	-	料金		
	お客さまサービスの向上 ・新たな料金支払い方法導入検討などの継続	料金支払い方法の拡大など、お客さまサービスの向上を図る。	新たな支払い方法や窓口ワンストップ化など採用可能な手法について検討を進める。	-	料金	新たな支払方法の実施について、業者と協議した。	新たな支払い方法や窓口ワンストップ化など採用可能な手法について検討を進める。
	適正な水道料金の設定 ・適正な水道料金の設定	経営戦略の見直しに合せ、水道料金の改定時期等を検討する。	実績を踏まえた料金シミュレーションを実施し、計画との乖離を確認する。	-	料金	適宜、最新情報を用いてシミュレーションを行い、水道料金の適正性について検討を行った。	水道料金改定の審議会を令和７年度に開催する準備を行う。
	収納率の向上 ・収納率の向上を図る取り組みを継続して実施	収納率の向上を図る取り組みを継続して実施する。	民間ノウハウを生かした取り組みを継続する。１年後の収納率99%以上を維持する。	-	料金	民間ノウハウを生かした取り組みを継続し、１年後の収納率99%以上を維持することができた。	民間ノウハウを生かした取り組みを継続する。１年後の収納率99%以上を維持する。
	収納率の向上 ・口座振替の推進	口座振替のPRを実施する。	HPでの周知や、新規申込の際に口座振替を積極的に案内する。	-	料金	新規申込の際に口座振替を積極的に案内した。	HPでの周知や、新規申込の際に口座振替を積極的に案内する。
	収納率の向上 ・滞納者の状況の正確な把握 ・収納へ向けた適切な対応	収納へ向けた対応を適切に行うことで滞納額の圧縮を図る。	滞納者へ適切な時期の連絡など、きめ細かな対応を行う。	-	料金	滞納者に対しては、適切な時期に連絡を行い、収納率の向上に努めた。	滞納者へ適切な時期の連絡など、きめ細かな対応を行う。
	資金の効率的運用 ・国債などの有価証券に投資を行うことによる資金の効率的な運用	国債などの有価証券への投資を行う。	借入とのバランスをみながら、購入時期の検討を行う。	-	料金	適宜、最新情報を用いてシミュレーションを行い、資金運用の適正性について検討を行った。	有価証券への投資の再検討を行う。
	遊休施設の有効活用 ・遊休資産の売却や貸し出しの実施	遊休資産の売却や貸し出しを実施し、資産状況の改善を図る。	遊休資産の測量・鑑定評価・土地対策会議など、売却手続きを進める。旧有脇増圧場については、土地の有効活用の検討に向け、施設の取壊しを実施する。	○	工務	旧岩滑東浄水場跡地の売払手続きを進め、一般競争入札による公募を実施した。（応募なし）また、旧有脇増圧ポンプ場については、計画どおり取壊しを実施した。	遊休資産の売却や貸し出しを実施し、資産状況の改善を図る。
	広域的な連携の推進 ・愛知県水道広域化研究会を通じた方策の検討	愛知県水道広域化研究会において広域連携の検討を進める。	水道料金システム等の調達において、近隣事業体と共同化が可能となるよう調整する。	○	料金 工務	水道料金システムの共同化について、近隣事業体と合意し、協定書を締結した。	システム共同化実現の詳細実務について協議する。
	技術の継承 ・内部、外部の各種研修や技術講習会への参加	内部や外部の各種研修や技術講習会に参加し、業務の効率化、技術力の向上を図る。	研修会等へ積極的に参加する。	-	工務 料金	日本水道協会が主催する講習会に参加し、知識の向上に努めた。内部においては、発注工事の配管設計に関する勉強会を開催し、技術力の向上を図った。	研修会等へ積極的に参加する。
	指定給水装置工事事業者の技能向上 ・指定給水装置工事事業者会議を利用した技能向上	指定給水装置工事事業者会議等により技能向上を図る。	指定給水装置工事事業者会議等を実施する。	-	給水	給水装置工事申込及び指定工事店の更新時に、不備な事案を基に指導を行う。また、協会等の技術講習に積極的に参加するよう促す。	協会等の技術講習参加を促す。

令和5年度 新水道ビジョンの施策内容の進捗管理表

施策方針	施策内容		令和5年度中の実施目標	3か年	担当	令和5年度実施した内容	令和6年度以降計画
持続	スマートメーター導入の検討 ・スマートメーター導入手法・効果の検討	スマートメーターの動向に注視しながら、導入に向けた検討を行う。	実証実験の結果を分析する。	-	料金	令和4年9月から令和6年3月まで、市内5企業にスマートメーターを設置する実証実験を行い、スマートメーターの有効性等について調査研究を行った。	スマートメーターの動向に注視し、情報収集を行う。
	スマートメーター導入の検討 ・スマートメーター機器動向の確認	スマートメーターの動向に注視しながら、導入に向けた検討を行う。	メーカーへの聞き取りや、近隣市町と勉強会を実施する。	-	料金		
	スマートメーター導入の検討 ・他事業体のスマートメーター導入状況の把握	スマートメーターの動向に注視しながら、導入に向けた検討を行う。	メーカーへの聞き取りや、近隣市町と勉強会を実施する。	-	料金		
	効率的な事務作業手法導入の推進 ・RPA手法導入の検討	導入可能な作業の抽出、効果の確認、費用対効果など、導入の検討を行う。	適用できる業務の検討を行う。	-	料金	不定期業務に試験的に使用し、効果検証を行った。	不定期業務に導入する体制を構築する。
	再生可能エネルギーの有効活用 ・再生可能エネルギー有効活用の導入検討	資源やエネルギー使用の見直しなどにより環境負荷の低減を図るとともに、環境の保全に努める。	先進事例の調査、採用可能な手法の検討を行う。（令和4年度小電力発電の有効活用については検討済み。）	-	工務	検討なし。	県広域調整池からの直接配水を検討する。
	水道事業に関するPR活動の実施 ・市内イベントへの参加	水道水の安全性や災害への備えなどについてのPRを実施する。	「水の日」にあわせてPRイベントを実施する。	-	料金	新たに「水の日」PRイベントを開催し、多くの来場者に対して水の日や水道事業についてのPRを行った。	イベントでのPRに加え、PR用ホームページを作成し、さらなる周知を図る。
	水道事業に関するPR活動の実施 ・アンケートの実施	水道水の安全性や災害への備えなどについてのPRを実施する。	アンケート方法の検討を行う。	-	料金	「水の日」PRイベントにて、来場者向けにアンケートを実施した。	アンケート方法の検討を行う。
	水道事業に関するPR活動の実施 ・パンフレットの配布	水道水の安全性や災害への備えなどについてのPRを実施する。	水道週間のボトルとともにパンフレットを配布する。	-	料金	水道週間にあわせて、水道水（あいちの水）を市内公共施設にて配布した。	水道週間のボトルとともにパンフレットを配布する。
	水道事業に関するPR活動の実施 ・水道施設見学会、出前講座の実施	水道水の安全性や災害への備えなどについてのPRを実施する。	水道施設見学会、出前講座等を実施する。	-	工務	水道に対する理解と関心を高めてもらうために市内小学校4年生を対象とした出前講座を平成25年度より実施しており、令和5年度は全14校において水道出前講座を実施した。また、市内小学5、6年生、中学生及びその保護者を対象とした議会主催の配水場の見学会を開催した。	水道施設見学会、出前講座等を実施する。